

## 常識ってなに

理事 北原 巖男

「それって常識？」

この言葉を最近よく耳にするような気がします。年配者だけでなく、若い人たちの間でも使われることが多いのではないのでしょうか。こんなことを言うと、それこそ常識を疑われるかもしれませんが。

古典「堤中納言物語」の中に、「虫めづる姫君」という物語があります。皆さんも読んだことがあるかもしれません。この姫君は自然を好み、メイクも歯は白く眉もそのまま。いわゆるナチュラルメイクでした。当時の女性は顔を白く塗り、お歯黒をつけ、眉毛は剃るのが常識。それが美人の条件でした。しかし、彼女は自然の状態が一番美しいと思っていたのです。

皆さんはどちらが美しいと感じるのでしょうか。もちろん、その時代や環境によって常識とされるものは異なり、美的感覚にも大きな違いはあるでしょう。

しかし物語ではあっても、千年も前の平安時代でも常識にとられない女性がいたことは素晴らしいことではないでしょうか。

皆さんは21世紀を生きる若者です。

大人たちが作った常識にとらわれることなく、それこそ、常識外れの活躍を期待しています。

大事なのは、常識ではなく、良識。自分自身の内なる道徳律に従うことなのです。

古岡奨学生第42期生の皆さん。

さあ、それぞれのチャレンジのスタートです！

そんな皆さんに、心から力いっぱいのエールを送ります！

「星たちの 光あつめて

見えてきたこの道をいく

明日の僕は」

(NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」第33話 梅津貴司 作)

(東ティモール民主共和国名誉総領事)

奨学 第42号

公益財団法人古岡奨学会第42期生文集  
2024(令和6年)1月1日発行